

技能検定を活用して実践と学びの一体化！！ 次世代を担う農業後継者を育成

鹿児島県立農業大学校 農学部花き科 技術専門員 増永泰久【技能検定担当 新福】

鹿児島県は、南北 600km の地理的条件を生かしたキクやユリ、ソリダゴなどの切花、指宿の温泉熱を利用した観葉植物、沖永良部の球根類、種子島のレザーリーフファンなどの栽培が盛んに行われ、日本有数の花き生産県として全国をリードしてきました。

農業大学校花き科では、1人1ハウス以上を担当し環境に配慮した切り花、鉢物、苗物の生産技術を習得します。花を総合的に学ぶため、自分たちで生産した切り花を利用したフラワーアレンジの製作や生産物の出荷・販売、市場研修なども行います。

そうした中、実践に役立つと考え国家検定である技能検定を活用して次世代を担う農業後継者の育成に取り組むことになった鹿児島県立農業大学校 農学部花き科 技術専門員 増永泰久さんを訪問、その取組みについて取材しましたのでご紹介します。



鹿児島県立農業大学校
日置市吹上町和田 1800

平成 24 年度技能検定の取組の状況について教えてください。

【増永泰久さん】

本校農学部花き科では、県内主要品目を中心に切花、鉢物、苗物等幅広い品目の技術・知識を習得します。花き経営においては今後、花に付加価値をつけた加工技術や販売能力が重要になるため、「フラワーデザイン」「鉢物栽培」等の学習を通して、花束やフラワーアレンジメントの製作、鉢物や苗物等の装飾技術の向上に取り組んでいます。

また、就職やその後働く際に役立つことから農業機械士、大型特殊自動車及びけん引免許(農耕車限定)、ボイラー取扱技能講習等の免許・資格取得にも積極的に取り組んでいます。花きに関する具体的な資格取得の機会はありませんでした。そこで、鹿児島県職業能力開発協会に相談し、平成 23 年度から「フラワー装飾技能検定」、平成 24 年度から「園芸装飾技能検定」を実施して頂くことになり、それに併せて授業対応をすることにしました。

23 年度はフラワー装飾技能検定 3 級を 2 年生 15 名と職員 4 名、24 年度はフラワー装飾技能検定 3 級を 2 年生 13 名と農業研究科 2 年生 1 名、園芸装飾技能検定 3 級を 2 年生 13 名、1 年生 10 名、職員 4 名が受検しました。学生だけでなく私たち職員も受検し、スキルを高めることと指導力向上に繋がっています。学生への指導の際も、自信を持って行えるようになりました。

“学んだことを実践する”これを繰り返すことがプロになるための早道だと考え、授業に取り入れることで、より実践的な能力を身につけられると思います。技能検定は他の検定試験に比べ、学生の取り組む姿勢がさらに一生懸命のような気がします。特に、検定直前の 1 ヶ月は真剣に取り組んでくれました。

技能検定受験の対策について教えてください。

1 フラワー装飾技能検定

学科試験については、職員が指導します。

実技試験については、内容によっては場所を取らずに短時間でも練習可能なので、自主的に練習するよう促しました。

外部講師による「フラワーデザイン」の講義で基礎基本をしっかり教えていただき、熟練技能継承支援事業による講習会で、熟練技能士に指導していただきました。

熟練技能士はてきぱきと短時間で作業をこなされます。学生に実技指導をする際も、落ち着いて要点をわかりやすく説明していただきました。手際良く、いかに作品を美しく仕上げるかという先を見越しての作業がすばらしかったです。

農業高校でフラワー装飾技能検定 3 級を取得済みの学生もいるので、将来的には 2 級取得に挑戦させたいです。

2 園芸装飾技能検定

学科試験については、職員が指導します。

実技試験については、練習を1回行うのに花材と材料の準備から片付けまで 3 時間を要します。内容を確認しながら丁寧に作業することがポイントです。作品が完成したら、学生同士で互いに悪い点を指摘したり、職員が要所を指導して作業のコツを掴ませるようにしました。

詳しい内容を把握している職員が誰もいなかったため、鹿児島造園技術専門校に全面的に協力をいただいた講習会と熟練技能継承支援事業による講習会で、熟練技能士にわかりやすく指導していただき、なんとか受験できるレベルに到達することができました。

3 今後の対策

指導者としては今後も指導を継続していく上では不安なこともありますので、指導者育成の観点からも関係機関等との連携が大切だと思います。



熟練技能継承支援事業
フラワー装飾
鹿児島県立農業大学校



熟練技能継承支援事業
園芸装飾
鹿児島県立農業大学校

(鹿児島県立農業大学校受験状況)

	フラワー装飾(フラワー装飾)3級	園芸装飾(室内園芸装飾)3級
平成 23 年度	19 名	0 名
平成 24 年度	14 名	27 名
合計	33 名	27 名

技能検定を受検した感想を教えてください。

学生と一緒に受検するという事で凄いいプレッシャーがあり、課題を何回も練習するなど、とにかく必死でした。

学校運営の基本方針の一部に「本県農業・農村の将来的発展を支える高度な知識や技術を備えた青年農業者を育成するとともに、地域農業の振興に貢献できる実践的指導者等を育成する。」という内容があり、本校では免許・資格の取得の推進に力を入れています。2つの技能検定は、まさにそれにふさわしい資格であると思います。学生には次年度以降も継続的に受検に向けて取り組ませていこうと思います。



技能検定実技試験
フラワー装飾(フラワー装飾)3級
平成24年7月15日実施



技能検定実技試験
園芸装飾(室内園芸装飾)3級
平成24年7月28日実施

平成24年度 前期 技能検定実技試験問題の概要

フラワー装飾(フラワー装飾作業)3級		園芸装飾(室内園芸装飾作業)3級	
下記に掲げる作業試験を行う。			
試験時間 1時間 25分		試験時間 1時間 20分	
課題1	(35分)	指定された課題図に示すインドアガーデンを製作する。	
花束及びリボンの製作を行う。			
課題2	(30分)		
バスケットアレンジメントの製作作業を行う。			
課題3	(20分)		
ブートニアの製作作業を行う。			



フラワー装飾(フラワー装飾)3級
受検者作品



園芸装飾(室内園芸装飾)3級
受検者作品

今後の展開・生徒に期待することはありますか。

就農する学生にとって、フラワーアレンジメントや園芸装飾技能は、販売力の強化に直結するスキルです。花の装飾に関する知識や扱い方を学ぶことによって、使う側の視点に立った生産など農場管理にも大きく影響し、経営発展の鍵となります。

就職する学生は、フラワーショップ、園芸店、造園業、室内園芸装飾業等の花き関連産業に就職し活躍することを期待しています。

学生が制作したフラワーアレンジメントや室内園芸装飾(インドアガーデン)の製品を職員室に展示し、関係者からの感想や評価をいただき、次回制作の参考にしています。今後は、鹿児島県フラワー装飾技能士会、鹿児島県造園技能士会、鹿児島造園技術専門学校、鹿児島県職業能力開発協会との連携を深めることで合格率アップにつなげたいです。

さいごに、本校花き科では1年次に園芸装飾技能検定、2年次にフラワー装飾技能検定が取得可能なことを大いにPRできればと思います。特に、高等学校の先生方や高校生に興味・関心を持ってもらえれば幸いです。

(参考)

平成24年度熟練技能継承支援事業とは

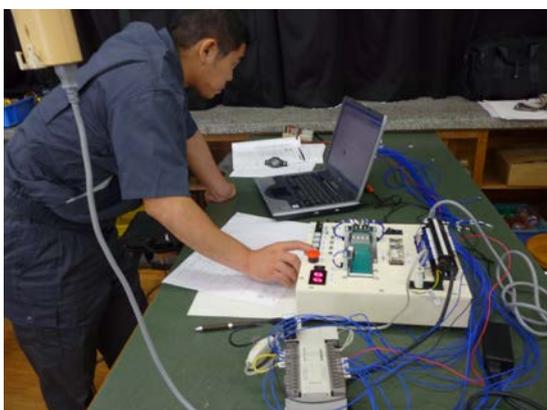
熟練技能者をインストラクターとして、高校等に派遣し、高校生の指導及び教師対象の講習を行い、技能の向上を図るとともに、技能振興についての気運の醸成を図ることを目的としています。



電子機器組立て
鹿児島県立奄美高等学校



造園
鹿児島県立常潤高等学校



電気機器組立て(シーケンス制御)
鹿児島県高等学校教育研究会 教育工業部会
(電気部会)



機械加工(普通旋盤)
鹿児島県立加治木工業高等学校